

## やまと文化の森だより 企画展のご案内

併設好評開催中!! (最終日は 15:00 までの展示です)  
 10/3 ▶ 10/27

- ・癒しのひととき「猫の水彩画作品展」ニャートクラブ
- ・見て・触れて・読んで「楽しい布絵本展」橋本恵子



○ 10/19 VOL.1 マチナカ音楽祭  
 「山都町ストリート音楽祭 VOL.1」

地元ミュージシャンが紡ぐ音楽の糸。  
 ピアノをはじめいろんな楽器、うた、パフォーマンス等  
 表現でつなぐ町民参加型のミュージックフェス。

- 10/26 ▶ 10/27 ハンドメイド&ワークショップ プティ・マルシェ
- 11/1 ▶ 10/24 おたっしゃ作品展「おたっしゃ・人生の楽園」刀剣展示
- 11/1 ▶ 11/5 山都町いきいき学級「菊花&山野草展」

問合 山都町下市 16 番地 ☎ 72-9400 開館時間 9:00 ~ 17:00 入館無料  
 休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日又は振替休日の場合は次の平日)、年末年始等

### 「ミニチュア猫づくり ワークショップ」

要予約10/12 13:00~15:30  
 定員20名 参加費500円  
 講師 田代英雄さん  
 可愛いなごみ猫に  
 絵付けをしませんか。



### 「第7回 秋の蚤の市」

10/12 ▶ 10/13 10:00~16:00  
 趣味、骨董、絵画いろんなもの  
 参加者募集中です。

## 山の都地域しごとセンター通信vol.78

### 農業研修の様子 (集合研修)

山都町の農業研修制度では月に一度、集合研修を行っています。9月は熊本県有機農業研究会の集合研修に参加する形で行いました。講師は、山都町農業研修制度2期生である本田渉様から「移住からの新規就農」、(株)肥後やまとの岩田理恵様から「有機農産物の販売と流通」についてお話しいただきました。山の都地域しごとセンターでは、平成30年度から山都町で農業をしたいという方の相談対応やサポートを行い、昨年度までに7名の新規就農者が誕生しています(現在研修生は3名います)。農業や空き家、移住定住に関するお問い合わせはお気軽にどうぞ。



問合 空き家や移住・定住に関するお問い合わせは、お気軽にどうぞ。  
 山の都地域しごとセンター ☎ 72-9111 e-mail:yamato.shigotocenter@machi-y.jp

# わたしたちの人権

235

誰もが人間として生きていくうえで  
 侵すことのできない当然の権利  
 これが『人権』です

## 部落解放に生きる

去る7月25日「令和6年度山都町学校・就学前同和教育研究会」において、吉本千世さんをお招きしてお話を聞きました。その講演内容の一部を掲載します。

マイクログレッションという言葉が聞かれています。マイクログレセッションとは、日常的に行われる言葉や行動によって敵意や敵対心が全くない中、知らず知らずのうちにマイナスイメージを相手に与えてしまうこと。攻撃性があり、意図的に行われる行為や言動は差別だとわかりやすいのですが、それが見えづらいのがマイクログレセッションです。悪意なく無意識のうちに相手の心にチクチクと小さな傷を切り刻んでいくので、非常に厄介で大変です。受けた側は、それらを払拭するのも大変です。

もうひとつ、アンコンシャスバイ

アス。これは思い込み、無意識のうちの刷り込みということ。みなさんの中にはありませんか?

差別は見ようとしないと見えません。気づかないまま、差別をする側に立ってしまいます。

「差別って、何?」って聞かれた時に、どう答えますか?

例えば、見下す、仲間外れにする、その存在を否定する、経験を否定する、予断と偏見、こういったことを容認する社会のしくみ、そのものを差別社会と捉えた方がいいと思います。だから、私たちは差別社会にいる、生きていくと自覚する。では、何をするか。

差別をなくすためには、自分自身で学び続けてほしいです。私自身、いろんな研修会に行くんです。それはなぜかという、まだまだ自分の中に払拭できない差別意識があるし、思い込みや決めつけがいっぱいあるからです。なかなか自分自身で変わりたい、変われないんですね。だから、差別問題や人権問題

について学び続けるし、自分の差別意識に気づこうとする意識は大事にしているところ。実は、さらに差別しているのがあって、YouTube上に被差別部落を同意なく無断で撮った動画が出されました。その行為に対し、一昨年に、ネット上でこれらの動画を削除して欲しいという3万筆を超える署名が集められ、YouTube上では動画は見られなくなりました。ですが、実はこれらの動画は新たに別サイトでそのまま掲載されているという状況です。

ネット上のさらし動画や写真等に對しては、今、大阪、新潟と埼玉で削除を求める裁判が起っています。また、「全国部落調査」復刻出版事件については、昨年、2023年6月28日に、「差別されない権利」を認めるとい画期的な判決が、東京高裁から出されています。

数年前、高校生が被差別部落の地名が書かれた本を自作してメルカリに出品し販売するという事件が起きました。差別が売り買いされているという状況です。「自分のお小遣い稼ぎの目的で出品し、1冊目売れた。買う人がいるんだと思、また、出品し、2冊目も売れた。それで、3冊目も売ろうと思ったら、こんな重大なことになってしまい、自分がやっていることが差別だと思わな

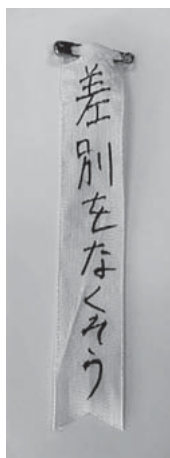
かった」と、当時、本人は語っています。学校で社会科の授業で習って部落問題があると知り、中途半端な生半可な知識だけで、興味本位でこのようなことをやってしまった。知らない間に差別に加担してしまう。いかに、教育や啓発が重要で大事かということがわかります。

差別のことを考えずに安心して過ごしたい、何も心配せずに過ごしたいというのが、私の願いです。

「差別の反対は、尊敬すること」  
 全国水平社創立宣言文の中にもあるように、差別をしないだけじゃなく、人を尊敬することによって、人と人がつながり差別をなくすという行動を続けていきたいです。

差別をなくすために、学校、保育園、それぞれの職場、また、行政は行政の役割、地域は地域の役割などを確認し、情報や発信を共有しながら進んでいけばいい。これからは、人権文化の種をまいていきたいと思っています。

自分の人権を守り  
 他人の人権を守る  
 責任ある行動を



©2010 熊本県くまモン